

2022-11-1  
No.1082 500円

# 思想運動

特集=新たな朝鮮敵視攻撃に抗して 2~5面  
核戦争の人類的な危機に立ち向かう 2面  
ミサイル発射問題=高良鉄美・高井弘之 3面  
JR赤羽駅のヘイト落書きに抗議する 4面  
東京五輪汚職をめぐって(谷口源太郎) 5面  
労働者通信=ユニテッド闘争団ほか 6面  
オール沖縄分断の那覇市長選挙 8面

十月二十一日に行なわれた10・21国際反戦デー首相官邸前行動でシユプレヒコールをあげるHOWS  
受講生 撮影 Ilshinya (関連記事七面)



労働者が先頭に立ち岸田政権の戦争政策と対決しよう！

## 10・21首相官邸前行動でのHOWSのアピール 自国政府独占の戦争政策と断固闘おう！

東京東部労組などによる労組反戦行動実行委員会が呼びかけた10・21官邸前戦争反対アクション(集会ルポ七面)には、労働者・労働組合などが反戦運動の先頭に立ち、この趣旨に賛同し、HOWS受講生も数多く参加した。以下はHOWSのアピール文(当日は部分読み上げ)。

今日は、国際反戦デーです。賃金は低下し続けていまい九六六年十月二十一日に、す。にもかかわらず、上場企業トナム戦争に反対するため、業全体では過去最高益を更新総評が統一ストライキを決定しています。大企業は給料を減らして、官民五二〇万人が参加し、減らさず、利益と株主配当を順調に拡大している。戦に立ちあがった記念すべき日、このように行動に参加

いよいよ、大変光栄です。みなさん！ 上がらない賃金、高騰する物価、劣悪化する労働現場で、わたしたちの暮らしは一段と苦しくなっています。物価は上がるのに賃金は上がらない。つまり、実質賃金は低下し続けていまい九六六年十月二十一日に、す。にもかかわらず、上場企業トナム戦争に反対するため、業全体では過去最高益を更新総評が統一ストライキを決定しています。大企業は給料を減らして、官民五二〇万人が参加し、減らさず、利益と株主配当を順調に拡大している。戦に立ちあがった記念すべき日、このように行動に参加

す。しかし、同じ頃に、日本、アメリカ、韓国、三か国が朝鮮のすぐ隣の日本海で共同軍事演習を行なっていることはあまり知られていません。アメリカの原子力空母「ロナルド・レーガン」や海上自衛隊の護衛艦「あきひこ」や韓国海軍の駆逐艦が並んで航行するなどの共同軍事演習を日本海で行ないました。この軍事演習が朝鮮人民にとってどれほどの脅威となっているか。多くの日本人はその想像が及ばません。アメリカを筆頭とした帝国主義者たちは、破廉恥にも、「人権」「民主主義」「自由」を錦の御旗にして、朝鮮への軍民両面からの植民地主義的介入の手を緩めようとはしません。朝鮮の体制崩壊をめぐり、帝国主義者たちの攻撃こそが、人権無視の最たるものではないでしょうか。

なぜ社会主義をめざすことが必要なのか  
十月社会主義革命記念集会に集おう

「北朝鮮バッシング」騒ぎにいつしよになって踊ることでありませんが、われわれがすべきことは、朝鮮の社会主義建設の平和的發展を帝国主義者たちの攻撃や干渉から防衛することです。われわれがすべきことは、朝鮮人民の自主を尊重し、かれらの連帯を求めることです。

## なぜ社会主義をめざすことが必要なのか 十月社会主義革命記念集会に集おう

一〇五年前のロシア社会主義大革命は世界の人民が人としての権利を勝ち取るための闘争を飛躍的に前進させた転換点となった。その意義を認識するのが革命記念集会である。

金に差をつけるのか。そもそも学校組織の労働者は誰一人として特別な存在はない。ある人は生徒の話を聞き、相談に乗る、ある人は間違いを指摘する、ある人は授業で問いかける、どれ一つ欠けてもどの一つも成り立たない。そこに賃金差別を持ち込む矛盾。それはどんな仕事でも同じことだ。しかし、この誰の目にも明らか矛盾に「モチベーション・アップ」では答えられない。査定昇給制度の目的は、賃金差別の理由を埋め、かつ可能なことだ。

ロシア革命の情勢とは、暗闇の中で黙って座っているが、衝撃的な映像ではじまる。未来の可能性が浪費されていく。現実があまりに多いように一本の基準線にそって、日々わたしたちに見える。

化も可能となったのだ。学校での人事評価・査定昇給の事例だけでも、たとえは過去に蓄積した未来の可能性が浪費されていることが見てとれる。そしてこのように浪費は他のあらゆる職場で、あらゆる課題でも同様ではないだろうか。逆に言えば階級意識を獲得する機会はいつでもどこにもあり、日々の此末に見えるさまざまな闘いを契機としてでも社会主義革命をめざすことが必要であり、かつ可能なことだ。

## ロシア革命一〇五周年記念集会 11月5日(土)13時半開会(13時開場) 東京・全水道会館4階大会議室

●基調報告「わたしたちはなぜ社会主義をめざすのか」  
●映画上映「レーニンの三つの歌」(関連記事11面)

「モチベーション・アップ」に繋がるように校長に評価させ、低評価をつけた場合は本人が苦情を申し出るというものだ。つまり制度自体は認められた形で「正執行部はどのような行動を否定している。この行き方では、どんなに努力を割いても前進はない、とわたしは言いたい。

【藤原晃・学校労働者】